

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		

2
1
79
表2

(原文)

演算子	種類	意味	結合方向
+ -	単項	プラス・マイナス	
**	二項	べき	右
* / // %	二項	掛け算・割り算・商・余り	左
+ -	二項	足し算・引き算	左
== != < <= > >= in is	二項	等しい・等しくない 比較 (<・≦・>・≧) 含まれている ⁵ 同じオブジェクトである ⁶	例えば、a<b<cは、 andを用いて a<b and b<c に展開される ⁶
not	単項	でない(否定)	
and	二項	かつ(連言)	左 ⁹
or	二項	または(選言)	左 ⁹



- ⁵p.83を参照のこと。
- ⁶p.89を参照のこと。
- ⁷p.90を参照のこと。
- ⁸p.83を参照のこと。
- ⁹p.83を参照のこと。

(訂正文)

演算子	種類	意味	結合方向
**	二項	べき	右 ⁵
+ -	単項	プラス・マイナス	
* / // %	二項	掛け算・割り算・商・余り	左
+ -	二項	足し算・引き算	左
== != < <= > >= in is	二項	等しい・等しくない 比較 (<・≦・>・≧) 含まれている ⁷ 同じオブジェクトである ⁶	例えば、a<b<cは、 andを用いて a<b and b<c に展開される ⁶
not	単項	でない(否定)	
and	二項	かつ(連言)	左 ⁹
or	二項	または(選言)	左 ¹⁰

⁵ただし、右側にある単項演算子よりは弱く結合する。3**2は3*(-2)に等価である。一方、-3**2は-(3**2)に等価である。

- ⁶p.83を参照のこと。
- ⁷p.89を参照のこと。
- ⁸p.90を参照のこと。
- ⁹p.83を参照のこと。
- ¹⁰p.83を参照のこと。

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
2	97	側注 7	<code>arange(0:5)</code>	<code>arange(0,5)</code>
3	97	側注 7	値を省略した場合は <u>1</u> ,	値を省略した場合は <u>0</u> ,
4	166	図 10	<code>from sklearn.model_selection import train_test_split</code> 図11,12	<code>from sklearn.model_selection import train_test_split</code> 図11,12 <code>from sklearn.preprocessing import StandardScaler</code> 図12
	167	図 12	<pre> ⑤ model = LinearRegression(normalize = True) ⑥ model.fit(poly_X_train, y_train) ⑦ y_pred_train = model.predict(poly_X_train) ⑧ y_pred_test = model.predict(poly_X_test) </pre> 図11の⑥～⑨をコピー	<pre> ⑤ scaler = StandardScaler() ⑥ poly_X_train = scaler.fit_transform(poly_X_train) ⑦ poly_X_test = scaler.transform(poly_X_test) ⑧ model = LinearRegression() ⑨ model.fit(poly_X_train, y_train) ⑩ y_pred_train = model.predict(poly_X_train) ⑪ y_pred_test = model.predict(poly_X_test) </pre> 図11の⑥～⑨をコピー
	167	図 14	図12を実行し図13の②を以下で置き換えて実行 <code>y_point = model.predict(poly.fit_transform(X_point))</code>	図12を実行し図13の②を以下で置き換えて実行 <code>y_point = model.predict(scaler.transform(poly.fit_transform(X_point)))</code>
	167	側注 6	④normalizeの引数にTrueを指定して入力データの各特徴量を標準化 (p.30参照) する。	④ StandardScaler クラスは、標準化の機能を提供する。fit_transformメソッドでは訓練データの各特徴量を標準化 (p.30 参照) し、transformメソッドではfit_transformメソッドで計算した統計量をもとにテストデータの標準化を行う。

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
5	172	表2	(文字列型)	(整数型)
6	160	図3	<code>import <u>japanize_matplotlib</u></code>	<code>import <u>matplotlib_fontja</u></code>
	160	側注1	① <u>japanize_matplotlib</u> は matplotlibのグラフで日本語を表示するモジュール。	① <u>matplotlib_fontja</u> は matplotlibのグラフで日本語を表示するモジュール。
	163	図1	<code>import <u>japanize_matplotlib</u></code>	<code>import <u>matplotlib_fontja</u></code>
	163	側注2	<u>japanize_matplotlib</u> は matplotlibのグラフで日本語を表示するモジュール。	<u>matplotlib_fontja</u> は matplotlibのグラフで日本語を表示するモジュール。
	166	図10	<code>import <u>japanize_matplotlib</u></code>	<code>import <u>matplotlib_fontja</u></code>
	178	図1	<code>import <u>japanize_matplotlib</u></code>	<code>import <u>matplotlib_fontja</u></code>
	178	側注2	<u>japanize_matplotlib</u> は matplotlibのグラフで日本語を表示するモジュール。	<u>matplotlib_fontja</u> は matplotlibのグラフで日本語を表示するモジュール。
181	図8	<code>import <u>japanize_matplotlib</u></code>	<code>import <u>matplotlib_fontja</u></code>	

なお、「var」を用いたプログラムにおいては python のバージョン 3.12.0 以降を使用する場合を鑑みて、「var」を「let」に差し替えました(p.63,6465,66,67,102,154)。